



菊水郷

編集／発行

大阪府立富田林高等学校
(旧富中) 同窓会

〒584-0035
大阪府富田林市谷川町4番30号
TEL (0721) 23-2281 (代表)
FAX (0721) 23-2204
印刷 (株)サラト



1

母校に
どうぞぞ!!



- ①各教室から見える金剛・かつら城山
- ②公会堂付近
- ③西口駅
- ④通用門



平成21年度

同窓会総会 ご案内



あなたに贈る音の玉手箱ミュージックボックス
「による」

とき

平成21年 **10月25日** (日) 午後3時30分より (受付午後3時開始)

○総会・講演 午後3:30～
講演 講師 漁(すなどり)義和 (高10期)
演題 「鼓について」

○懇親会 午後5:00～

ところ

天王寺都ホテル 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 (近鉄百貨店東隣)
TEL 06-6628-3200 (代表)

○総会・講演 5F 高取の間
○懇親会 5F 信貴の間

参加費

7,000円 (ただし、平成21年3月卒業生は、2,000円)

※同封の払込用紙にて振り込みでお願いします。

多数の御参加
お待ちしております。



サイエンス・ハイスクールに関して

会長 越井 健

最近の新聞報道では連日のごとく、京都議定書後の地球温暖化防止対策について各国でどのように合意していくかの話し合いが報じられています。京都議定書では、これまでに化石燃料をエネルギー源として二酸化炭素を多く排出してきた先進国が率先して二酸化炭素の排出を削減するべきであるとして、日本にも多くの削減が求められています。一方、人類が快適さ、便利さを求めて様々な技術開発を行い、化石燃料を多く消費する社会になっています。これに対して我慢を強いての生活をし、自動車には乗らない、暑くても冷房を入れない、寒くても暖房を入れない、原始時代のような禪一つで、裸足で歩いていた時代に戻っていくべきなのでしょうか？

二酸化炭素は木材に固定されています。樹は二酸化炭素を吸収して成長します。森林は大気中の二酸化炭素を吸収します。また、海洋中にも二酸化炭素が固定されており、海洋でも二酸化炭素が吸収されます。

現在の様に技術的に二酸化炭素を減らす努力は必要では

ありますが、更に排出された大気中の二酸化炭素を吸収する面から、私は、森林、木材に着目すべきだと思います。

幸いなことに、我が富田林高校は府下には珍しく山林を持っています。これは有難い卒業生より金剛山の麓、千早の山林を寄付していただきました。

私は同窓会に関係して以来、この山林のことをいろいろの機会に言ってきました。これを教材として生徒に地球温暖化の問題に関心を持たせるべきだとも言ってきました。学校当局はなかなか強い関心を持ってくれませんでした。現大木校長は大変な関心を示され、これをてこに文部省のサイエンス・ハイスクールの申請をされました。

残念ながら今回は文部省の選にもれましたが、引き続き努力される様なので、同窓会でも可能な協力をしていきたいと思っています。

この森林を利用して生徒達に生物の勉強をしてもらおう、遺伝子の問題等、いろいろとテーマはあります。又、体力向上にも役立つでしょう。出来れば一人一本植林運動があってもよいのではないかと思います。



同窓会の皆様へ

校長 大木徳史

同窓会会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

今年度は、5月に新型インフルエンザによる1週間の休業処置、さらに6月には本校の直ぐ近くの石川で高校生同士による殺傷事件と、立て続けにあまり良くないような事象が起きました。

特に後者の事件は、新聞が富田林市公立高校と記事にしたものですから、同窓会の皆様を始め、多くの方々から問い合わせが殺到いたしました。学校ホームページにも日々4,000近くのアクセスがあり非常事態といっても過言ではありませんでした。

さらに、地域で起こった事件であり生徒の精神的なショックも大きく、生徒の心の安定を図り、今後の冷静な対応をとの趣旨で、朝一番に全校一斉放送を行いました。内容について学校ホームページに載せておりますのでご覧ください。

今年度、本校では文科省や府教委の様々な企画に対し、積極的に申請を行った結果、7つの事業の指定校として認定されました。その内の2つをご紹介しますと、先ず、今まで学力向上に取り組んできた実績が高い評価を受け、府内で唯一文科省より3年間「学力向上実践校」として指定を受けました。

そのため、同窓会にもご協力いただき、学校内部の教育力に加えて、新たに大手予備校による夏季集中講座の開催や授業力向上研修への教員の参加など外部力も活用することが可能となりました。

さらに、府教委より、平成22年度より「専門コース」の開講できる設置校候補として認定を受け、今後の生徒の進学実現に向けてどういったカリキュラムを組むべきか、校内で鋭意検討しているところです。仮称ですが「人づくりコース」～Human Development～では、3年間を通じて12単位以上の教科・科目を新たに組み入れ、先駆的に本校の特色を出そうとするものです。

また、中学生やその保護者を対象とした学校説明会が、頻繁に開催されていますが、その折に、富高においては、本校・同窓会・PTAの3者がトライアングルのように堅固な協力関係が構築されていることが特色の一つであると説明しています。

多くの同窓会員の皆様が、本校に寄せる熱い思いや期待を常々感じており、「富高生であることを誇りに思い、富高で学んでよかったという思いで卒業していく学校に」「学力が伸び、進路目標が達成できる高校に」「豊かな人間性が育まれる高校に」を目指し、教職員一体となって様々なフレキシブルな取り組みを行い、現在、新たな素晴らしい一時代を刻んでいる状態にあります。

同窓会の皆様には、今後とも温かいご支援をよろしく願っています。



学力向上実践研究校に指定！



文部科学省から、富田林高校が「学力向上実践研究校」に指定されました。平成21年度から23年度の3年間の研究指定で、大阪府では唯一の指定校です。これまで本校が取り組んできた次の教育内容を深める形で、本年の研究を始めます。

- 「数学」・「英語」における少人数授業の実施により、学習意欲を向上させ学習成果を向上させる指導方法と教材の研究。
- 「情報」・「家庭」において、新学習指導要領を見据え、時代に即した課題解決のための指導方法の研究。
- 「総合的な学習の時間」において、学外のNPOとの連携および効果的な探求活動をさせる指導方法の研究。

この研究指定での実践を通して、生徒があらゆる学力を向上させ、富田林高校が新たな発展をできるよう、教員一同で取り組んでいく所存です。

(教頭 中井雄三)

『賛助会費へのご協力』今後とも宜しく！

3年連続200万円超のご協力に感謝！感謝！

平成17年から同窓会と深く関わることになり、将来に亘る同窓会運営に関し、資金面の危機を感じました。

そこで平成18年度の菊水郷で『賛助会費にご協力を！』とお願いした結果、231万余円もの「賛助会費」のご協力を得ました。翌19年度に『賛助会費へのご協力に感謝！！』とお礼を申し上げました。その年度には、244万余円。平成20年度には、228万余円と3年連続で200万円を超える「賛助会費」へのご協力を頂いております。(決算・予算は、菊水郷に掲載のとおり。)

富田林高校同窓諸兄姉の母校への変わらぬ愛情に感謝しつつ心

からお礼を申し上げます。

平成20年度は、同窓会のホームページ創設に伴い、30万余円の赤字となりましたが「賛助会費」のお陰でこの程度に留まりました。また「菊水郷」も増ページ(20ページ)で多くの情報提供が出来るようになりました。

昨秋のリーマンショックに端を発した世界的経済危機が未だ去らず厳しい状況に有りますが、今後とも「賛助会費」へ変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 土井 進(高6)

個人情報保護法 について

平成17年4月1日より
個人情報保護法が施行されました。

同窓会事務局は、個人情報保護法の趣旨に鑑み同窓会が保有する個人情報については適正な取扱いを実施する必要があると考え、見直しを進めております。

今後、役員会で運用の仕方とデータベースの安全管理方法をまとめていきたいと考えております。

また、他校同窓会とも協力し、よりよい運営を心がけたいと思っています。
名簿管理は株式会社サラトに依頼しています。他の業者等からの問い合わせにはご注意ください。



サステナブル社会の実現に貢献する
越井木材工業株式会社

<http://www.koshii.co.jp>

代表取締役会長 越井 健 (高6期)

こんどう歯科医院

院長 金 銅 克 典

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎17期生

〒587-0002 堺市美原区黒山85-13

TEL 0723-61-1801

(近鉄バス下黒山バス停前)

広告依頼・金銅良幸(學)(中44期)

〒583-0841 羽曳野市駒ヶ谷74

河内の文化財③

■道明寺

藤井寺市道明寺に鎮座します道明寺天満宮は平安時代の学者であり、政治家であった菅原道真公をお祀りしております。全国天満宮の中で唯一の遺品が国宝として六所蔵する由緒正しいお社であります。

垂仁天皇の三十二年、相撲の祖といわれる野見宿禰が、「はにわ」を創って殉死に代えた功績で、「土師」の姓とこの辺り一帯を所領地として賜って以来、遠祖天穂日命をお祀りしたのが土師神社の始まりです。その後仏教が伝来し、推古天皇二年、聖徳太子の発願により、土師八嶋が自宅を喜捨し土師寺が建てられました。

その土師氏は「菅原」へと改姓し、道真公が現われます。当地には道真公のおば様であります覚寿尼公がお住まいになられていたことから、道真公は当地を度々訪問されます。三十六才のときには十一面観音像(現道明寺で本尊、国宝)を彫られ、四十才のときにはひと夏当地に滞在され、夏水井の水を汲み、五部の大乘経を写されました。その経塚から、胚芽が経巻の形をした「もくげんじゅ」が生え、謡曲「道明寺」にも有名になりました。

また、宇多上皇の大和河内御巡幸の際にも当地にお伴され「雨中錦を衣て故郷に帰る」と漢詩に詠まれたことから、公はこの地を第二の故郷として慕われていました。

やがて五十七才にして従二位右大臣に進まれましたが、無実の罪で九州大宰権帥として淀川を下られることになり、その舟の中で、

世につれて浪速入江もにごるなり

道明らけき寺ぞこひしき

と詠まれ、道明寺への訪問を許されました。そして、この道明寺で覚寿尼公との別れを惜しまれ、鏡にお姿を映されて自像を荒木に刻まれ、

鳴けばこそ別れも憂けれ鶏の音の

なからん里の暁もがな

との御歌を残されて西海に赴かれました。

公は無実の罪であっても、ひたすら謹慎のまことを尽くされましたが、延喜三年二月二十五日に五十九才

で亡くされました。

その後、天曆元年に遺し置かれた木像を北丘にお祀りし、ご遺品をご神宝として安置し天満宮を創建、土師寺を道明寺と改称しました。延慶三年には西琳寺の僧鑑阿に神託があり八葉鏡に勅封を賜りました。

天正三年当国高屋城の兵乱に、社殿等が焼失しましたが、幸いで神像と宝物等は難を免れ、この年織田信長公より、また天正十一年と文禄三年には豊臣秀吉公より、さらに徳川幕府よりも代々の寄進があり、享保年中に霊元法皇、中御門天皇より女房奉書を賜ってから明治初年まで毎年初穂料が下賜されてきました。

明治五年、神仏分界により、五坊の中、二之室が神職家となり、道明寺は道を隔てて西に移築され、現在に至っています。また、明治十年には明治天皇の行幸の際、行在所となりました。平成十四年には菅原道真公千百年大祭を斎行。

高14期 南坊城 充興



■ 地蔵寺

私が住職をしております地蔵寺は河内長野市の東南・和歌山県との府県境近くにある山寺です。真言宗御室派（京都・仁和寺を本山とする宗派）の寺院です。

今から約300年前、元禄年間（1688～1704）に同じく河内長野市にあります延命寺の第二代住職蓮体和尚（1663～1726）が中興開山したお寺です。

現存します本堂は享保6（1721）年に建てられたものです。本尊は延命地蔵菩薩様です。この本堂は伊予の国（現在の愛媛県四国中央市）の大庄屋坂上羨鳥氏の寄附により建立されたものです。日本には千年以上の歴史のある寺院が沢山ありますので300年程度の歴史ではまだまだ新しい部類に入るといえます。そんなお寺で18代目の住職をしております。

昭和46年4月に入学をしまして49年3月に無事卒業することができました。

学生時代は勉強に励んだという記憶はなく（今ではもう少し勉強しておけばよかったのにと悔やんでおりますが…）クラブ活動に専念していたといった方がよくあてはまると思います。3年間硬式テニス部に所属をしていました。1年生の時のボール拾いやトレーニング、合宿等は辛かったですが今となってはなつかしい思い出です。石川の右岸や左岸を走ったり、雨でコートが使えない日には瀧谷不動尊迄走ったこともありました。苦しかったこと、楽しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、色々なことをクラブ活動の場で教わることが出来ました。（特に忍耐力はついたと思います）その恩返しではないのですが（先輩風を吹かしに？）大学の4年間はテニス部によくかよい、現役の練習相手をしたものでした。

大学卒業後僧侶としての仕事を始めたのですが、



おつき合いのあるお寺のご住職に富中、富高を卒業された方が多いのには少しびっくりしました。又、檀家さんをお参りさせて頂いても卒業生の方が多くいらして話はずむことも度々ありました。さすがに歴史のある学校だなあと、あとで思ったしだいです。

富高での3年間に学習し体得したことや、先生、先輩、友人との出会いは今の私にとっては大変貴重な宝物となっています。そんな富高に感謝の気持ちを込めて、ありがとう！そして富高バンザイ！！

高26期 堀 智真



平成20年度会計決算書

※△印は予算額か決算額を上回った場合

収入の部

費目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	4,162,000	4,671,000	509,000	
会費	1,912,000	1,894,000	△18,000	@2000円
臨時会費	450,000	490,000	40,000	
賛助会費	1,800,000	2,287,000	487,000	
利子収入	20,000	18,739	△1,261	
預金利息	20,000	18,739	△1,261	
雑収入	1,348,000	733,994	△614,006	
会報広告料	450,000	425,000	△25,000	
雑収入		8,000	8,000	名簿代
繰越金取崩	898,000	300,994	△597,006	
合計	5,530,000	5,423,733	△106,267	

収支まとめ

費目	決算額	内容	金額
前年度繰越金	11,917,372	出資金	18,000
今年収入	5,122,739	不動産	
今年支出	5,423,733	山林 名義人 同窓会会長	
次年度繰越金	11,616,378	(一) 南河内郡河南町大字平石 928番地14 5,454㎡	
		(二) 同上 928番地16 4,462㎡	

平成21年6月6日 以上の通り報告いたします。

会長 越井 健 ◎

決算書、会計簿その他書類を調査し、適正かつ正確であることを認めます。

会計監査 荒井好昭 ◎ 会計監査 青木 仁 ◎

支出の部

費目	予算額	決算額	差引額	備考
事業費	4,050,000	4,132,932	82,932	
クラブ援助費	250,000	250,000	0	
菊水郷発行費	3,400,000	3,586,793	186,793	
会員活動費	100,000	25,029	△74,971	
学校案内補助	300,000	271,110	△28,890	
会議費	770,000	720,329	△49,671	
総会費	750,000	705,399	△44,601	
会議費	20,000	14,930	△5,070	
事務費	60,000	21,720	△38,280	
消耗品費	20,000	0	△20,000	
印刷費	10,000	0	△10,000	
通信費	30,000	21,720	△8,280	
人件費	50,000	0	△50,000	
報償費	50,000	0	△50,000	
諸経費	500,000	548,752	48,752	
慶弔費	20,000	2,982	△17,018	
支払手数料	70,000	61,670	△8,330	
諸雑費	10,000	30,000	20,000	
HP創設準備費	400,000	454,100	54,100	
予備費	100,000	0	△100,000	
予備費	100,000	0	△100,000	
次期繰越金			0	
合計	5,530,000	5,423,733	△106,267	

平成20年度特別会計決算書

※△印は予算額か決算額を上回った場合

収入の部

費目	予算額	決算額	差引額	備考
利子収入	60,000	56,331	△3,669	
預金利息	60,000	56,331	△3,669	
雑収入	892,000	619,369	△272,631	
雑収入	0	0	0	
取り崩し金	892,000	619,369	△272,631	
合計	952,000	675,700	△276,300	

収支まとめ

費目	決算額	内容	金額
前年度繰越金	24,905,608	出資金	18,000
今年収入	56,331	不動産	
今年支出	675,700	山林 名義人 同窓会会長	
次年度繰越金	24,286,239	(一) 南河内郡河南町大字平石 928番地14 5,454㎡	
		(二) 同上 928番地16 4,462㎡	

平成21年6月6日 以上の通り報告いたします。

会長 越井 健 ◎

決算書、会計簿その他書類を調査し、適正かつ正確であることを認めます。

会計監査 荒井好昭 ◎

会計監査 青木 仁 ◎

支出の部

費目	予算額	決算額	差引額	備考
事業費	952,000	675,700	△276,300	
語学研修補助	450,000	450,000	0	オーストラリア語学研修付き添い旅費
土曜セミナー補助	500,000	224,090	△275,910	土曜セミナー指導者謝礼・参考書購入
国際交流支援費	0	0	0	
通信費	0	790	790	
手数料	2,000	820	△1,180	
次期繰越金	0	0	0	
合計	952,000	675,700	△276,300	

平成21年度会計予算書

収入の部

費目	21年度予算額	20年度予算額	備考
会費収入	4,168,000	4,162,000	
会費	1,918,000	1,912,000	@2,000円
臨時会費	450,000	450,000	
賛助会費	1,800,000	1,800,000	
利子収入	20,000	20,000	
預金利息	20,000	20,000	
雑収入	1,052,000	1,348,000	
会報広告料	450,000	450,000	
繰越金取崩	602,000	898,000	
合計	5,240,000	5,530,000	

収支予測

費目	予算額
前年度繰越金	11,616,378
今年収入	4,638,000
今年支出	5,240,000
次年度繰越金	11,014,378

費目	内容	金額
出資金		18,000
不動産	山林 名義人 同窓会会長	
	(一) 南河内郡河南町大字平石928番地14 5,454㎡	
	(二) 同上 928番地16 4,462㎡	

支出の部

費目	21年度予算額	20年度予算額	備考
事業費	4,100,000	4,050,000	
クラブ援助費	250,000	250,000	
菊水郷発行費	3,500,000	3,400,000	
会員活動費	50,000	100,000	
学校案内補助	300,000	300,000	
会議費	770,000	770,000	
総会費	750,000	750,000	
会議費	20,000	20,000	
事務費	60,000	60,000	
消耗品費	20,000	20,000	
印刷費	10,000	10,000	
通信費	30,000	30,000	
人件費	50,000	50,000	
報償費	50,000	50,000	
諸経費	160,000	500,000	
慶弔費	20,000	20,000	
支払手数料	70,000	70,000	
諸雑費	10,000	10,000	
ホームページ更新費	60,000	400,000	
予備費	100,000	100,000	
予備費	100,000	100,000	
合計	5,240,000	5,530,000	

平成21年度特別会計予算書

収入の部

費目	21年度予算	20年度予算	備考
利子収入	60,000	60,000	
貯金利息	60,000	60,000	
雑収入	2,293,000	892,000	
雑収入	0	0	
取り崩し金	2,293,000	892,000	
合計	2,353,000	952,000	

収支予測

費目	予算額
前年度繰越金	24,286,239
今年収入	60,000
今年支出	2,353,000
次年度繰越金	21,993,239

支出の部

費目	21年度予算	20年度予算	備考
事業費	2,353,000	950,000	
語学研修補助	450,000	450,000	オーストラリア語学研修付き添い旅費
土曜セミナー補助	500,000	500,000	土曜セミナー指導者謝礼・参考書購入
国際交流支援費	200,000	0	
学力向上実践研究校支援費	1,200,000		進学マネジメント委託費、人生達人講座費、予備校講師による授業、外部講演参加費等
通信費	2,000	0	
手数料	1,000	2,000	
次期繰越金		0	
合計	2,353,000	950,000	

平成20年度事業報告書

平成20年	10月15日	菊水郷発行
4月5日	25日	役員会(総会打ち合わせについて)
4月5日	11月22日	役員会(平成19年度事業報告・決算報告・平成20年度事業計画案・予算案作成・菊水郷企画・総会準備)
5月24日		総会:平成19年度事業報告・決算報告・会計監査報告・平成20年度事業計画案・予算案
6月7日		講演会:乾 正氏(全6期) 元花園大学教授、大阪心の健康総合センター長 「老いについて」
6月、7月、8月	平成21年	1月18日 山林視察(同窓会役員・学校教職員)
8月23日	2月7日	役員会(学校行事への出席、名簿作成について)
	3月2日	入会式
	3日	卒業式にお祝いのフラワースタンド贈呈

平成21年度事業計画

1	各種会合	7	教育基金の運営	
	役員会	4月25日、6月6日、8月22日、10月10日、22年2月6日	8	学校案内(来校者、校区中学校配布用)の作成補助
	会計監査	5月14日	9	クラブ活動の援助
	教育基金委員会	6月6日	10	入学式にお祝いのフラワースタンド贈呈(平成21年4月4日)
	常任幹事会	6月6日	11	同窓会入会式(平成21年3月2日)
	総会	10月25日	12	卒業式にお祝いのフラワースタンド贈呈(平成22年3月3日)
	菊水郷編集会議	随時	13	山林視察
2	総会	10月25日	14	ホームページ更新
3	賛助会費募金活動		15	その他 本会の目的に達する事項
4	名簿発行			
5	菊水郷発行	9月末		
6	同窓会員の活動援助			

同窓会について

Part 4

紙面を刷新した会報「菊水郷」の中で、皆様と同窓会の現状や課題を報告し、一緒に考えていただこうと思い、ページを割いて恥じも外聞もない拙文をお目にかけて5回となりました。お蔭様で賛助会費は毎年予算以上の金額をいただいて感謝しております。我々編集委員会は、「菊水郷」の発行費用は会員の賛助金と有志からの会報への広告料で賄いたいと思っておりますが、この理想に後一步というところです。

最近の教育環境は、橋下知事となってから様変わりして、財政的にも学校運営にも創意工夫が求められ、公的資金以外のところでP・T・Aと同窓会の支援が必要とされる時代になりました。ここ数年間、200万円を超える賛助会費をいただいてありますが、今

後の他校に負けない活動をして行くためにより一層のご協力、ご援助をお願いいたします。

ところで、建替え前に正門からすぐに瀟洒な和風建築があったのを記憶されている会員各位も多いと思います。確か独立した同窓会館でした。今では校舎の一部を使用していますが、管理の関係で同窓会の自由使用にはなりません。このことから、会員から同窓会館が必要ではないかとの声が聞こえてきます。聞くところでは、歴史ある学校では、独自の同窓会館を持ち、同窓生が自由に活用されているようですが、多額の資金を要することとて、夢としても本校も積立をするなど、一考の余地はありますね。

常任幹事会報告



今年の常任幹事会

常任幹事会が、今年も去る6月6日に開催され、出席者全会一致で昨年の事業と決算を承認され、今年の予算と事業計画を可決いただきました。

常任幹事は、現在150名おられますが、今年は30名の出席をいただきました。これからも常任幹事各位の多数の出席をいただき、富田林高校(旧富中)同窓会の更なる発展、充実を図って行きたいと考えています。

教育基金運営委員会

同窓会の機関に教育基金運営委員会があります。これは、母校創立100周年の寄付金を元に設置した教育基金の運営を協議する機関で、母校の教育環境の向上に寄与しています。

教育基金について

同窓会には創立100周年の寄付金を元に設置した教育基金があり、特別会計として運用しています。現在は豪州との相互交流や土曜セミナーの運営経費など、公の支出が不足する事業を支援しており、将来的にも国際交流の推進や進学校としての実力の充実を進めるべく、母校の教育環境の向上に大きく寄与しています。

一般に、基金とは、原資があり、そこから生まれる利息等を事業費に充てて運営しますが、同窓会の教育基金は設置後の経済情勢から基金本体の取り崩しにより運営され、先細りになっております。そのため、梃入れが必要となっております。2011年秋には、110周年を迎えており、いろいろ記念行事が予定されることと思いますが、その時、事業の一つとして基金原資の上乗せの検討が必要となることと思っております。

賛助会費の多寡により事業の規模も左右されます。諸事多端の折り、ご無理をお願いすることになりますが、今後とも同窓会に対して一層の関心とご協力ご支援をいただきますようお願いいたします。

ホームページを 立ち上げました。

しかし…



同窓会も時代の要請に応じて、ホームページを制作する予定で長年検討してきましたが、昨年、学校とPTAが共同してホームページを立ち上げました。しかし、学校の情報発信を中心に予算を充て、同窓会部分は形式だけのものにならざるを得ませんでした。

30期前後の同窓生で有志がホームページを運営されていますが、全体の同窓会では、本来の書き込みなど、管理に手のかかる運営は現時点では困難ですから、更新も学校主体で予算を取っており、当面は、情報提供のみに限定されていますが、将来は、菊水郷を補完して情報交換を出来るように努めて行きたいと考えています。

同窓会名簿の発行案内



会員名簿購入のお願い（平成21年12月予定）

皆様のお手元に案内状が届き、既に予約をされている方も多いと思いますが、前回の名簿発行から五年経ち、再び名簿発行の時期が来て、新名簿の発行に踏み切りました。委託業者は、会報「菊水郷」の発行を委託しています「サラト」で、現在も会員の住所氏名などの管理も委託し、前回の名簿発行も任せて

おり、その実績と契約条件をみても同窓会に有利なものであります。

同窓会の事業目的にも名簿の発行が明記され、今までもおおむね5年周期で発行されてきていますので、今回は、前回より500円上がり、1冊4,500円となりますが、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

同窓会開催に
どしどし
ご利用下さい



賛助会費芳名録

会員の皆様には、平素より同窓会母校発展にご尽力いただき感謝いたしております。皆様のご厚意で頂いております賛助会費は、同窓会活動や母校支援の大切な原資であり、母校と皆様を繋ぐ会報「菊水郷」充実の基であります。

—昨年から賛助会費を一口1,000円とし、幾口でもしていただけるようにいたしました。

今後ともお力添えをお願いいたします。なお、賛助会費を拠出していただきました方の菊水郷への記載につきましては、個人情報保護を配慮いたしまして、ご芳名と期のみとさせていただきます。ご了承くださいませ。よろしくお願いいたします。

旧職員 岩田 行平 岡田 安男 奥本 隆 佐々木 有馬 多吾 久子 増田 利弘 松尾 好文 松崎 貞雄 南上 和男 元木 次男 吉田 克三 若林 正昭 渡辺 勉治郎	中 35 期 竹村 喬 寺山 薫 松川 啓一郎 森 由之 山田 豊直 山本 重市	横山 寛 吉岡 義介 中 40 期 秋元 成夫 谷口 昭文 秦井 康弘 村田 欽哉 吉村 敬	中 44 期 石垣 幸雄 北川 英夫 北本 豊一 金銅 良幸 中村 哲文 華園 勝隆 松井 清輝	土橋 良子 中村 シモ子 西浦 安之 林 寿美彦 日原 和昭 三宅 昭三 武藤 晃	高 6 期 荒井 好昭 乾 正男 太田 次博 片本 千昭 北村 信夫 久保 京子 黒田 高正 小越 井健 沢田 照子 芝野 康二 社領 節子 杉岡 正敏 田中 晃郎 瀧澤 谷一 土井 文雄 中戸 松彦 中野 洋介 西野 健尚 則花 見利 人船 利隆 古庄 康一 増田 玲子 松井 繁隆 森分 登志 山口 静雄 中野 喜代治 吉村 正清	高 7 期 奥田 利子 奥谷 在久 佐藤 道子 白土 陽子 名城 啓次 武田 正康 西浦 三郎 原上 博司 森口 好美 柳野 和巳 愿山 舜 脇田 佐知子	道旗 妙子 峯垣内 康一 山本 善包 高 10 期 浅井 映好 浅原 浩介 伊藤 恵子 上山 肇子 大橋 久夫 岡田 晃子 片山 忠三 岸尾 和季 園亀 芙美子 中上 匡子 中西 昌博 福川 悦子 福島 能子 真野 利平	
中 25 期 西本 繁夫	中 36 期 伊豆野 勝且 川邊 將治 木下 清勳 高村 勳	中 41 期 伊藤 欽亮 岡田 幸郎 紙谷 敏明 武田 昭郎 西林 正則 藤田 威三 廣田 稔 藤森 悠紀 船内 茂夫 古谷 重宏	中 45 期 白土 泰三 古元 秀明 松田 利雄	併 2 期 信耕 正生 高木 宏等 東野	高 4 期 小倉 昌子 高田 十郎 谷口 道治 中尾 保之 中村 妙子 永岡 陽子 永真 欣孝 宮崎 登美子 森田 貞通 柳田 弘美 吉村 久平	高 8 期 今井 啓司 植木 亨昭 大堀 良俊 土井 則俊	高 11 期 井上 美津子 伊藤 英子 伊藤 初美 大崎 満子 金谷 一彦 清水 悦子 嶋崎 研一 中谷 靖人 中谷 初美 濱田 隆博 福田 弘博 伏谷 勝博 藤原(山本) 恵子 松井 宏子	
中 27 期 久保 藤雄	中 37 期 浦野 修一 多田 敬一	中 42 期 合田 史郎 松尾 大	高 1 期 芝 正美	高 2 期 上田 一男 江住 和雄 桂 秀和 斎藤 尚寛 土屋 英和 原田 達雄 藤田 恒男	高 3 期 安藤 寛 浅田 稔 河浦 三郎 竹林 義夫 橘 節子 辻 完司	高 9 期 榎園 徳幸 岡原 一彦 金谷 悦子 嶋崎 研一 中谷 靖人 中谷 初美 濱田 隆博 福田 弘博 伏谷 勝博 藤原(山本) 恵子 松井 宏子	高 12 期 剛幸 茂彦 伊藤 大鍵 小室 嘉明 白須賀 敬二 杉本 昌子 竹口 昌慶 竹本 直一 中井 壮一 平尾 紀久子 藤井 笑子	
中 28 期 伏井 猛朗	中 38 期 浅岡 渡 大北 一夫 岡田 正治 武田 悦光 南條 和美 西野 皓之 福地 結城 山元 貞彦 吉田 宏	中 43 期 石田 龍彦 清水 昭吾 田中 富三 谷口 誠睿 本城 順一 吉田 禮治 和田 昭三	中 30 期 池田 利雄	中 31 期 田嶋 雄	中 32 期 花岡 重雄	中 33 期 山口 英信	中 34 期 車田 安生 土井 重元 中尾 薫	中 39 期 稲田 隆正 岡田 昌治 奥村 隆彦 楠本 秀夫 笹島 葆 高岸 宗吾 西野 哲夫 橋本 哲人 村上 和夫

株式会社

カナヤ

代表取締役 金谷 一彦 (高9期)

〒584-0093 大阪府富田林市本町19-19
TEL 0721-25-5000(代)

ブライダル・ナカノ

大切なご子息・お嬢様方の縁談を、ご成婚するまで、心を込めた対応で、お世話させていただきます。

代表 中野 繁子 (高10期)

〒546-0021
大阪市東住吉区照ヶ丘矢田1-6-23
TEL 06-6702-8624
FAX 06-7504-8394
携帯 090-4567-1972
E-mail: bridal-nakano@let.eonet.ne.jp

大手前法律事務所

弁護士 辻 公雄
富高12期生

事務所 〒540-6591
大阪市中央区大手前1の7の31
OMMビル5F 私書箱68号
Tel (06) 6945-0308~9
Fax (06) 6945-0691

自宅 〒583-0026
大阪府藤井寺市春日丘2の12の1
Tel (072) 954-2516

三村文男
森口寿子
森田訓子
森野光宏

西川宏郎
藤本直男
榎田潔衛
松原

岩本ゆり
植田修一
太田正美
小田崇孝
角田博寿
平山直樹
古莊(永井)節子
松井滋博
南崎喜博
宮脇ひろみ
山本修身
山本佐久子

高24期
安部孝文
上浦章子
浦田知子
川野泰德
佐藤兼弘
中尾和夫人
秦秀和
福田忍
藤井由惠

宮崎悟寛
矢野寛
高30期
秋山浩二
岩根保誠
高31期
菅義人
長崎美恵
西口禎二

高37期
枝廣優子
北山高悦
堀川悦子
高38期
吉岡理恵
高39期
小野直子
高40期
武田和久
富上敏希
野崎博万
浜本隆義

高50期
下津千賀子
高52期
小林浩二
佐藤寛子
高53期
川喜多由博
谷和憲
谷文香
中村和昭

定時制
高1期
大川千萬
高4期
武田輝一
高5期
内山将
高7期
中島晴美
古河千鶴子

高12期
伊東明子
井戸敏高
賀須井昭平
佐野満智子
佐藤勲雄
辻公雄
西村成子
東井清彦
藪利臣
山崎由紀子

高15期
泉並正
上西三千男
碓井正訓
尾花一克
大杉彦彦
奥井綾子
木村茂美
原節
竹田昌史
辻野伊代子
中山紀子
野浦五十次
松井幸子
村上前節
森本幹雄

高20期
石崎英男
内田喜和子
久保公人
小林祥悟
花岡栄子
平尾文子

高25期
木下由美子
中本行則
中本久恵
村田恭子

高32期
飯塚剛
黒見眞二
渡辺真二

高41期
日吉(葉山)和恵
藤井雅子

高55期
氏林秀夫
岸本一誠
谷阪晃弘

高14期
渡辺敦子

高13期
井上正次郎
井坂正孝子
奥田孝子
織田壽子
片井崇子
片山陽美
鎌本英一
北辻守英
坂口千恵子
清水重子
末広忍
竹村秀次
田中崇
巽野尚
辻野正彦
村蒔子
矢納嘉子
脇田正行

高16期
青木秀雄
近藤久子
谷口宏栄
中野照男
中野チツ子
村上知也

高21期
同窓会参加者一同
越智千恵子
越井清行
芝田啓治
多田えり子
武田勝玄
内藤道夫
仲谷薫
西矢幸司
吉野谷順子

高26期
上杉英子
梅野勢津子
沖田耕一
岸本浩行
隅田昌憲
南條光晴
水野智矢

高33期
京極輝子
西村友志
弓岡優子

高43期
野添慈子
高44期
岸澤慶多
平野光起

高56期
上地正人
谷美貴子
燈田美歩
中野良平
森田心平

高16期
宮部治男

高17期
葛本範雄

高14期
小川俊子
佐藤重子
田原由紀子
田守邦彦
谷川義信
中町典彦

高17期
南則雄
山下憲子

高22期
荒木登喜子
久保元嗣
日根伸夫
山田次郎

高27期
池田芳則
石橋幸枝
小原康子
辻田博志
松田洋明

高34期
伊藤みどり
岡田清嗣
岡田奈未子
松本由紀子
山本佳子

高45期
河杉将幸
本元宏和

高57期
池田篤
出水唯
藤岡幹也
米田佳世

高46期
高嶋良樹

高55期
下大迫 勲也

高18期
遠藤忍
大杉早智子
甘南備喜代子
仲谷徳雄
西尾健
西野美智子
平川治郎
宮本美津子

高18期
遠藤忍
大杉早智子
甘南備喜代子
仲谷徳雄
西尾健
西野美智子
平川治郎
宮本美津子

高23期
井戸清明
上田幸男
北野幸世
竹谷芳明
長嶺光生

高28期
西尾元嗣
西村則美
二神満寿美
松尾恵史

高35期
岩田エリ子
印藤香織
音嶋和弘
曾我部和美
羽原寛治
三上紀子

高46期
赤松剛志
加藤寛己
的場垂矢
山田公一

高58期
岸本信二
二村悠輝

一般団体
富高ももせ合唱団

高14期
小川俊子
佐藤重子
田原由紀子
田守邦彦
谷川義信
中町典彦

高19期
伊庭康行

高29期
浅野隆史
佐藤久美
多賀祥介
高松実
富田和之

高36期
池田千鶴
小林一也
近藤美幸
峪口勝志
橋本大志
久野由美

高47期
井上大輔
西村嘉那子

高59期
長澤法子

高60期
奈良崎脩
的場大輝

高61期
岸本亮三

株式会社



代表取締役 辻 秀和 (高19期)

本店 大阪府河内長野市本町17-18
TEL 0721-52-2521
HP <http://www.ishicoma.co.jp>

ノバティ南館 駅前店
TEL 0721-55-1016

アニマル・レスト・ガーデン
-英国風ガーデン動物霊園 直営-
和歌山県橋本市隅田町中島1057-7
TEL 0736-36-8898
HP <http://www1.odn.ne.jp/arg/>

小・中・高
教科書販売店
学習参考書
多数取揃え

松田頌文堂

松田洋明 (高27期)

富田林市谷川町2-25
(富田林高校前)
☎0721(24)1885



河内長野ガス株式会社

河内長野市昭栄町14番31号
フリーダイヤル 0120-053-0012

北村善治 (高23期)
山本明彦 (高24期)

冬期だより



各期だよりの原稿を**大募集**!!
ぜひ原稿と写真をお送り下さい!!

高
3
期

高3期同窓会 下呂、飛騨高山紀行

安藤 寛

平成20年10月1日、台風の予想外の南下で計らずも好天、初日の目的地、下呂に向かう。有馬、草津と並ぶ天下の三名古湯。

昭和26年卒業後57年、旧制富中、富女入学の3年後、学制改革で新制高校に変わり、奇しくも6年間一緒の仲間。当初300名乍ら69名を失い、昨今は毎年1~2名を彼岸に送る。

今や齢76才前後の総勢39名。

途中「下呂合掌村」に寄る。荘川桜で知られる御母衣ダムに沈んだ旧白川郷からの移築。

農具、家具什器、雛人形等立派な内容。恰好の立地で規模の差こそあれ本家の世界遺産白川郷に劣らず。

下呂に着くや早速湯浴み。田中卓郎君の福の神さながらの司会で宴たけなわ、時の過ぎるのを忘れる。加齢と共に酒豪も影を潜め、程良い陶酔。夜更け、明け方と名湯三昧。

翌日も快晴、先ずは「飛騨高山まつりの森」へ、山の中腹に穿った巨大なドームの中、平成の絢爛豪華な屋台6基に目を奪われる。総工費170億円、私財で賄われたと。日本一の大太鼓や屋台の「からくり人形」はコンピューター制御、特に優美な能役者の所作は人手より滑らか、技術革新による人形浄瑠璃、文楽の行方や如何!。

木下恵介が絶賛して止まなかった飛騨高山、何度来ても良い。険阻な中山七里の奥にこの様な町があるとは。飛騨と云えば、かの山本茂実の「あゝ野麦峠」の糸繰り工女はあまりにも物悲しいが、これは昭和初期の世界大恐慌の頃が舞台。野麦峠は江戸への道、飛騨鯉の信州松本への通い道でもあった。

木の国ゆえに奈良時代から庸、調の代わりに都の諸々の造営に



従事。1692年の幕府直轄後米の移出を免ぜられ、林業と鉱山（神岡）をバックに金融、商業が優遇され、全国的な大名貸迄行われている。今に見る日下部家、吉島家等の豪商、美しい町筋、豪華な屋台等山国文化の育った所以ではなからうか。

高山グリーンホテルで洒落たランチを楽しんだ後、市内を自由散策。滞在時間の短さをかこちつつ高山を後にする。

今度で19回目の同窓会、とりわけ平成16年から毎年開催。57年間も継続出来たのも名代表、榛間順君の倦まざる運営努力と人柄、適確な事務処理、又忙しい病院経営の傍ら、テキパキ財經、総務相を兼任し、初回からの集合写真22枚をアルバム化された中奎子さん、故人を含め再三の会合打合せに労を惜しまなかった幹事諸氏、暖かく見守り応援して呉れた同期生、又永らく行届いたスマートなサポートに徹したエイジェントの国際人小沢さん、皆さんの厚意に感謝の外はない。

別れ際に来年を以て3期同期会の幕引きを告げるや、車内に一声「死ぬ迄やれ!」。

高
6
期

高6期 卒業55周年記念同窓会

幹事一同

5年ぶりに私達6期生の同窓会を本年4月11日に天王寺都ホテルで開催しました。

参加者は68名でした。5年前には90名、そのまた5年前には100名の参加があり、段々出席者が減っているのが残念です。次の同窓会は、5年後とは言わず、3年後に77歳（喜寿）を祝して開催したいと思っています。

恒例の記念撮影の後、開宴の前に志半ばにして逝った同窓達を偲んで黙祷を捧げました。幹事の説明では、約2割の同窓が亡くなっていました。

続いて土井進君（代表幹事）の挨拶、越井健君（富高同窓会会長）の祝辞。実は越井君は私達6期生の同窓です。

荒井好昭君の乾杯の音頭で宴が始まりました。

互いの近況や思い出話、友の息災を確かめ合い、話に花が咲き、時の経つのを忘れませんでした。



幹事の計らいで同じホテルに二次会の会場がしつらえてあり、カラオケなどで大いに盛り上がり、この分だと次回はもっと参加者が増えそうと、私達幹事もお世話のし甲斐がありました。

高 9 期

「富高9期生古希を祝う集い」を実施して

浜 健次郎

私達9期生は平成21年3月28日、天王寺みやこホテルで、恩師石香亨先生、以倉隆先生、多吾久子先生のご出席をいただき、同窓生86名の参加のもと盛大に同窓会を挙行いたしました。

まず、宴の始まる前に、先生方からそれぞれ今までの貴重な体験談やこれからの70歳代のあり方について

ご教授いただきました。次に同窓生を代表して、地元でボランティア等で活躍している、富田林、寺内町の長谷英男君、太子町の麻野明子さんに「古希を迎えて」と題してスピーチをしてもらいましたが、先生、同窓生の皆さん方に共通する心掛は柔道や相撲という、いわゆる 心 技 体を常に意識して日々有意義に生活する、ということに尽きる様でした。

又、今回は従来ならば、最後に応援歌、校歌を斉唱するのですが、趣向を変え、「富高節」の振付をされた多吾先生にお願いし、同窓生の女性4人が加わり演壇で踊っていただきました。詞も曲も振



付もすばらしく富高時代をなつかしく思い出しました。そして最後は幹事代表の音頭で校歌を斉唱し、閉会の辞をもって終了しました。

私達9期生はよく同窓会を行います。富高百周年記念を実施以降「還暦を祝って」「富高入学50周年」「富高卒業50周年」そして今回の古希を祝って、です。概ね2~3年毎に一回実施しており、次は多分富高110周年を記念して、が予想されます。楽しみです。富高9期生、万歳。

高 12 期

同窓会報告

幹事一同

2008年6月14日に、12期F組のクラス会を恩師の石香先生と楽しく、8年ぶりに行いました。

2008・6・14
富田林高校 12期F組同窓会
(昔の名前で出ています)
花さき亭にて



価値ある、おいしさ。

CHOYA

チョーヤ梅酒株式会社
www.choya.jp

サントル・ドウ・ヴィラージュ

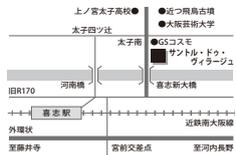
手作りのパン&ケーキとおしゃれなレストラン
《年中無休 am9:00~pm20:00 (LO)》

隣は姉妹店 **和ダイニング 蔭**
(ランチタイムのみ営業)

ご予算に応じた各種パーティーも承っております

結婚式の2次会、同窓会、歓送迎会など8~60名まで
お料理は和、洋、和洋折衷等、カラオケ、送迎バス、あり

吉田 豊 (高25期)
〒583-0995
南河内郡太子町太子307
TEL: 0721-98-5865



お墓のことなら
墓地・御石塔



(株) 巽 石材店

代表取締役 巽 照幸 (高26期)

富田林市志喜町2丁目1-22
TEL 0721-23-4529
フリーダイヤル 0120-33-6007

高
24
期

37年間、毎年クラス会やっています。 岡田英樹

24期生(1972年卒)3年E組は37年間、クラス会が続いています。たしか、卒業してすぐの奈良公園でのハイキングが始まりだったと思います。その後も一泊旅行なども節目に企画し、今日にいたっています。

男子10人、32人の文科系のクラスです。なんと、ここで3組の夫婦が誕生しました。きっかけが同窓会の打ち合わせだったカップルもあります。信じられない組み合わせや、これ以外に考えら



れない組など、青春真ただ中での、同窓会の役割は大きかったようです。

今でも、毎年20人近くが集まります。

37年の間に、みんなにいろんなことがありました。大学生活、就職、結婚、子育て、離婚、転職、親の介護、自身の病気など、同世代としての悩みや喜びを語り合ってきました。

同窓会は、担任の廣靖彦先生の挨拶で始まり、みんなの近況報告、次回の幹事をきめて終わります。最近は何のせいか、話す人も聞く人も一緒に涙することも多くなりました。

富高時代は、廣先生は大人に見えましたが、今では若いほうにみえます。移住した長野県から毎年、来ていただいています。去年は、みんなで新居に押しかけました。いつも数年先行く先生でしたが、私たちももうすぐ定年を迎えます。ずっと真剣に生徒と向き合ってくれた先生のおかげでクラス会がつづいているようです。感謝。

パソコンに堪能な安部君が、クラスの掲示板をつくってくれました。同窓会の連絡や、気まぐれな書き込みなど、リアルタイムの情報交流ができます。

時代とともに進化する3年E組の同窓会ですが、かわらないのが高校時代を含めた40年間の友情です。

これからもずっとこの同窓会は続くはずですが、最後までだれが生き残るのかな？

ももせ

「第2回富田林高校ももせ合唱団演奏会」 のお知らせ

富田林高校卒業生、教職員、保護者OBの方々による「ももせ合唱団」の第2回演奏会を11月8日(日)、午後2時より(開場:午後1時30分)、LICはびきのホールMに於いて開催いたします(入場料1,000円)。

演奏内容は、下記のとおりですが、混声合唱は組曲「生命・はるかなる旅路」等を指揮・家島健氏(高5期)、ピアノ・京極輝子(高33期)・岡林純香(高40期)両氏によって演奏され、また、中納俊夫氏(高8期)のテノール独唱、京極・岡林両氏によるピアノ連弾、明尾雅弘氏(高31期)のギター演奏等も行われます。

また、高1期卒業の宮川泰さんの歌も組み入れており、当日は大いにお楽しみいただけるものと思っております。

前回の演奏会と同様、多数の方々にご出席いただきますようお願いいたします。

富田林高校および同高同窓会の皆様、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、当合唱団では、現在、団員を募集しております。練習は原則として第2、第4土曜日、2時~4時、富高同窓会館で行っております。見学も可能です。興味のある方はお気軽に連絡ください。

(演奏会の出席等に関すること・新規入団等のお問い合わせは、0721-25-2938村元まで)

主催：富田林高校ももせ合唱団
後援：富田林市合唱連盟・富田林高校同窓会
お問い合わせ：0721-25-2938(村元)

第2回富田林高校 ももせ合唱団演奏会

日時：2009年11月8日(日)
開演：午後2時(開場 午後1時30分)
場所：LICはびきのホールM
入場料：¥1,000

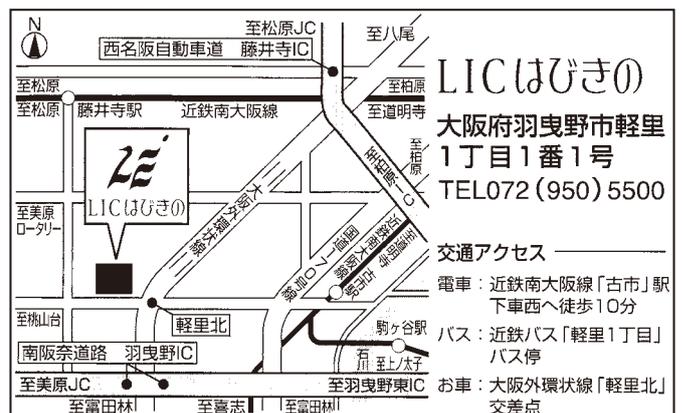
〈プログラム〉

(第1部)

- ・混声合唱組曲「生命・はるかなる旅」
1)海 2)屋久杉 3)生きる 4)祈り 5)はるかなる旅路
- ・ホームソングメドレー(イギリス編)
アニーローリー ~ グリーンスリーブス ~ ロンドンデリーの歌

(第2部)

- ・ギターアンサンブル オリジナル曲メドレー、涙そうそう
- ・ピアノ連弾 ハンガリー舞曲 他
- ・テノール独唱 宵待草 他
- ・ホームソングメドレー(日本編)
花~荒城の月~浜辺の歌
- ・宮川 泰「懐かしのメロディー」より
1)青空のゆくえ 2)君をのせて 3)みんな昔は少年と少女だった
4)パパと一緒に





富高第5期生(昭和28年卒業)の皆様へ

「大阪府立富田林高等学校
第5期生喜壽記念同窓会」
開催のお知らせ

と き：平成22年2月2日(火)
午前11:30開会(受付11:00)

ところ：天王寺東映ホテル
天王寺区悲田院町8-1 TEL(06)6775-2121
JR天王寺駅より東へ徒歩3分

皆様方お誘い合わせの上、多数ご参加賜りますようお願い致します。

幹事(松原市在住者)
安井啓二、東地静香、伏井(池岡)壽彦、北川(小林)田鶴子、
社領(岡田)文子

同窓生登場!!

薩摩切子の第一人者
土屋良雄氏(高9期)

皆さんは、肉厚のガラスに鋭く線状に刻みを入れた、藍や紅や紫などの色ガラスの容器(薩摩切子)の美しさに触れられたことがあると思います。今年は東京と神戸で薩摩切子展が開催されましたが、これを監修企画されたのが九期生の土屋良雄さんです。

土屋さんは河内長野市出身で、高校、大学で美術部に属し、大阪市立大学商学部を卒業後サントリー(株)に入社。会計学専攻ながら、縁あって宣伝部に配属されました。当時の宣伝部には開高健、山口瞳、柳原良平などの面々が活躍していました。その後、美術館の学芸員に転じ、館蔵されていた薩摩切子の整理保存を担当することになり、後に研究の成果を大著で発表され、今では薩摩切子の研究では日本の第一人者の評価を得ています。定年退職後もサントリー美術館企画委員として、美術館創設や講演などに幅広く活動しておられます。



山本雅一氏(高12期)

〈山本雅一 略歴等〉

- ・富田林高校12期(卓球部キャプテン)
- ・山本農園(造園業)3代目事業主となり、現在に至る
- ・大阪府立松原高等職業技術専門学校(旧職業訓練校)造園科非常勤講師・専任講師
- ・平成3年11月(財)日本緑化センターの樹木医に認定(1期)、日本樹木医会大阪府支部長・大阪府樹木医会会長を歴任

[講習会では]

氏の講習会で「造園は芸術である、テクニク(造園技術、剪定技術)のみでなくセンス(美的感覚)もそれと同じくらい大切である、生きた木を扱うのであるからその木の性質(樹木特性、特に生態的特性)について理解してかからなければならない、木を愛することは木を知ること」とおっしゃっています。

四季の日本料理と天然ラジュウム泉



ご宿泊・お食事承ります。

〒586-0062 大阪府河内長野市天見158

TEL 0721-68-8081

URL <http://www.e-oyu.com>

E-mail nantenen@e-oyu.com

山崎 友起子(高30期)



丸長運送株式会社

河内長野市上原西町6-20

TEL 072-522-8450
FAX 072-522-8877

代表取締役 井戸清明

(高23期)

思い出

富田林高校定時制の思い出

河上邦子（定50期）

平成十年一月、最愛の夫が突然他界しました。寂しい毎日に途方に暮れ泣きくらしていました。そんな時です。地元の広報で富田林高校が定時制の生徒を募集しているのを知り早速二人の娘に相談したところ喜んで賛成してくれ入学に至りました。五十七才の高校生です。

さて、それからが大変でした。私には勉強の基礎が何もありません。特に困ったのは数学と英語です。分数はもとよりアルファベットもまともに書けません。本屋さんへ行き孫のために買うような振りをして小学校四年生の計算問題集を買い娘に教えてもらいました。

学校生活が始まると、私が半世紀以上も社会で経験してきたこととまるで違う新鮮な世界が待っていました。生徒の年齢もさまざままで私のように実社会を経験している人も

いて少し安心したものです。先生方も私より若い方ばかりでテストの時など老眼の私のためにわざわざ大きな字でプリントをコピーして下さりありがたかったです。

親しい友人達は「今さら勉強してどうするの、身軽になったことだし気楽に楽しんだらいいのに」と云いましたが、そうじゃないんです。今迄生きてきた過程の中で見たり聞いたりして通り過ぎて来たことが教材になって目の前に有るのです。体育の授業では50mプールで泳ぐことも出来ました。スキー修学旅行にも行きました。ワクワクする気持は同年代の方にはとうてい分からないでしょう。先生方も休憩時間になると学校の周囲にちらかっているゴミ、スイガラ等を拾い、失業している生徒の相談にのったり、仕事でいそがしい生徒には遅刻をしても学校には来るようにと気を配っておられる様子には頭が下がりました。

御理解ある先生方と若いクラスメートにささえられて楽しい学園生活を送れたことは、ほんとうに幸福でした。

平成二十年三月に定時制が閉課程になり、寂しいかぎりですが私は富田林高校定時制課程の卒業生であることを誇りにしてこれからも力強く生きていきたいと思っています。

同窓生の紹介



田坂千禎 (Tasaka Chisachi)

パイプオルガン 高27期

桐朋学園大学作曲理論学科(音楽理論専攻)卒業。ベルギー・レメンス音楽院オルガン科を最優秀で修了。

1987年宝塚ベガホールにてソロリサイタル開催後、サクソフォンや金管アンサンブル、合唱などと共演し、ザ・シンフォニーホールやいずみホールのコンサートに出演。1997年のハービス大阪オープニングアトラクションでのオルガニストも務めた。1993年より伊丹市立サンシティホールのオルガンコンサートにレギュラー出演。2001年、2002年には、羽曳野市主催のLICはびきのホールMでのコンサートに出演。現在、大阪芸術大学および兵庫県立西宮高等学校音楽科の非常勤講師。日本キリスト教団富田林教会オルガニスト。

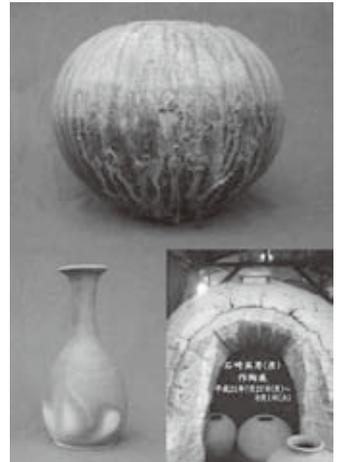


櫻井直子 (Sakurai Naoko)

朗読 高35期

関西外国語大学を卒業後、フジ系列富山テレビ放送のアナウンサー。その後NHK大阪でレポーターとして近畿一円を巡る。その後テレビ和歌山にて再びアナウンサーとして勤めニュース番組やインタビュー番組を担当。1996年よりフリーランスとして司会やナレーション、ラジオ・TV番組、企業番組などで活躍。2003年、04年には自らプロデュースし、女流写真家と組んで五感に響く朗読会を開催。04年に心理学(NLP)の資格を取得後は、伝えるコミュニケーションをテーマに企業研修なども手がける。現在、大阪YMCA国際専門学校にて日本語表現法の非常勤講師などをはじめ、独自のスピーチレッスン“トーキング・エクササイズ”を主宰。

同窓生の活躍



むしむしとする長い梅雨に飽き飽きしていたところ、高20期の石崎英男氏より作陶展の案内をいただいたことを思い出し、大阪府立現代美術センターに足を運んでみました。氏は趣味として始められたようですが、自宅に釜をもうけ、本格的に陶器を制作されています。センターの部屋、その空間は、数年かけて制作された作品の数々が涼しさ、静寂、質感あふれる空気をつくり、梅雨を忘れさせてくれるひとときでした。カメラを忘れ、その空間をご紹介できないのが大変残念ですが、作品の載っている案内状を紹介させていただきます。

高25期 森口由紀子

「卒業してから一度も母校へ行ったことがない！」 そんな皆さまへ

母校訪問デーの御案内です。

11月14日（土）10時～3時まで

- ・同窓会役員と担当の先生方で御案内させていただきます。
- ・同窓会室を使って御歓談下さい。
- ・駐車スペースは少ないので、通学されていた頃を思い出し、なつかしの近鉄電車と富田林西口駅、近辺の風景も楽しみながら徒歩でお越し下さいますようお願い致します。多数の御参加お待ちしております。

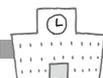


富高体育会総会

平成21年5月16日（土）、天王寺アサヒビアケラーにおいて富高体育会総会が行なわれました。本年は39名の参加でした。富高体育会とは、富高を卒業し、体育系大学に進まれた方々を中心とした会です。もちろん、富高で保健体育科、養護の教員として活躍して頂いた先生方も参加して頂いています。会長西野健さん（高6期）、副会長渡辺文一さん（高8期）、福田隆さん（高9期）を中心に会が運営されています。もう30年以上、会は継続しています。本年は20歳代の若手も15名参加し大いに盛り上がりました。最後は富高の校歌をみんなで歌い、フレーフレー富高！！のエンゲルで会は締められました。ありがとうございました。連絡等は幹事、本校保健体育科 田中正孝（高30期）までお願いします。



学校紹介



富田林高校の生徒会行事

生徒会部部长 日下部暁洋

本校の中心となる行事はペナント・体育祭そして文化祭の三つです。

新学年・クラスが発足するとすぐ校内のあちこちでペナントの練習が始まります。また簡易のバレーネット（荷造りの紐）も現れ練習にも熱が入ります。中には「ちょっと球技がにがてやな～」と思いながら参加している生徒がいるかも知れませんが、そこは富高生、全員が参加できるように声をかけ練習をしているようです。

今年はペナント…と呼ばれる根拠となる「ペナント（三角形の旗）」を生徒会執行部が手作りで作成し、総合優勝の3HIに送られました。校長室に保管されていますが、見る価値はあります!!

ペナントが終わればすぐに体育祭があります。教員側のシステムが昨年大幅に改正され、今年はより充実させることができました。競技種目も出場する方も応援する方も、熱中できるようにしました。（熱中症には配慮しています!!）

ただ新型インフルエンザの影響で府下全校で一週間休校になり、行事の準備を停止せざるを得ない状況になりました。応援などの十分な練習時間と

えることができなかったですが、富高生の頑張りでも乗り切れたと思います。

さて現在は文化祭の取り組みに追われています。転勤してきて8年間、公会堂の係りだけをしてきた私にとっては、校内で行われる文化祭を一度も見たことがありません。プロログ祭？体育館の軽音と有志？中庭の富コレ？…初めてで楽しみな反面、無事に文化祭ができるのかと、げっそりと痩せ細ってしまいそうな自分があります。（全然、痩せませんが…）とにかく、自主的にどんどん前に進んでいく生徒に助けられながら、またOBの人達の貴重なアドバイスを受けながら進んでいる現在です。

色々と考えていると、行事の中心にはいつも活発で富高が大好きな富高生やOBがいることを実感している今日この頃です。





卓球部 高校時代の思い出

高51期 田中秀和

言葉では表現できないほどの達成感、充実感。高校時代の思い出として、真っ先に思い出すのは文化祭の劇だ。あれほどまでに情熱を注ぎ、クラス全員でひとつのものを作りあげ

た感動は今も忘れない。全力で一所懸命取り組むことの美しさ、そして、本当の一所懸命はまわりに伝わっていくものだということを学んだ。このときの経験は、私の心の宝物であり、その後のいろんなことに立ち向かうときの力にもなっている。

もう一つ、高校時代の思い出として外すことができないのがクラブだ。私は卓球部に所属し、2年生になってからはキャプテンを務めた。本当に強くなって高いレベルでのおもしろさをみんなで味わいたい。そのために、「意識」を大切にすることを目標にした。いまチームとして必要なものは何なのか、何故その練習をするのか、何を意識して打つのか。ミーティングが必要だと感じた。雑誌を読んだり、ビデオを見たりして研究もした。しかし、さすがにそれまでの流れと一気に変わったので反発もでてきた。その辺りの折り合いもつけながら、徐々に自分たちの代のスタンスが確立していったように思う。

試合では、気持ちが空回りしてなかなか勝てず悔しい思いをしたことも多かったが、3年生のときのある試合でそれまでの練習の成果が爆発した。高体連の試合ではなかったが、近畿につながる大会で、団体が優勝、個人で3位に入ることができた。それまで、団体戦では1つ下の強かった後輩の力に頼る部分も大きかったが、このときは自分たちも力を発揮できた。ベンチからの応援も心強かった。あきらめずに最後まで頑張ってきて本当に良かったと心から思える、みんなでつかみ取った勝利だった。

現在は卓球から離れているが、当時のメンバーとは年に1、2回集まっている。みんな全国に散らばってしまったが、それぞれがそれぞれの場所で頑張っている様子はとても励みになる。これからは気軽に集まり、語り合い、刺激しあえる仲間でありたい。

振り返ればたくさん思い出があるが、それらが今でも色褪せずに輝いているのは、最高の仲間や先生たちに出会えたからだ。そしてその中で自分自身本気で熱くなれたことを幸せに思う。私たちは、講堂で卒業式を行った最後の学年である。当時の校舎や部室がなくなってしまったのはとても寂しい。しかし、後輩たちが大切な心を受け継ぎ、また新しい歴史を築いていってくれることをいまは期待している。そして、長い教員生活の中、いつか母校で教壇に立ちたい。



バレーボール部

バレー部の思い出

高57期 北 真哉

「もっとこのメンバーでバレーがしたかった。」最後の引退試合の日に僕が言った言葉です。今でも鮮明に思い出せます。相手に最後の一点をとられてその場で泣いたこと、副キャプテンの子とコーチに肩を抱かれてコートを去ったこと。皆がこのチームで良かったと言ってくれたこと、その後トンカツを食べにいったことも。

本当に全てが忘れられない思い出です。高校からバレーを始めて、たった五人の同じ学年のメンバー、野球やサッカーに比べたら人気もないし…でもチームプレーの素晴らしさを学べました。チームのために、誰かのためにと全員で一点を取る素晴らしさ、試合で勝てば全員で喜び、負ければ全員で悔しさを味わい、全員が本気でバレーに取り組むからバレー部って絆が強いんです。



僕が三年間で得たものは、真剣に取り組むことの大切さや、仲間の大切さでした。

そして、時は流れて僕はまだ富高の体育館でバレーをしています。バレー部の良いところは先輩が後輩を教えるという伝統です。卒業してもバレー部が好きだからまた戻ってくるという姿は僕たちが現役の時からずっとあります。女子バレー部のコーチをさせてもらいたくさんの生徒たちと出会いそして見送りもしてきました。

僕が伝えたいことは、一つのことに真剣に向き合う大切さ、チームメイトとの絆の大切さです。自分自身が味わった素晴らしさを絶対生徒たちにも味わってもらいたいと思っています。たくさんの壁にブチあたるでしょう。イヤになるぐらい練習も苦しいでしょう。しかしバレーは絶対に一人ではできません。仲間と一緒にのり越えてくれると信じています。

バレーと出会って七年が経ち、バレーボールを通じて得たものは本当にかげがえのないものばかりでした。そしてこれから先も増やしていけると、そう思います。



茶道部

高18期 船越さち子
顧問 田坂 俊郎

当時、正門の植込に同窓会館がありました。鉄筋のいかめしい校舎にとっては別荘のような、素敵なお建物でした。きっと先輩方のお力でお造りになったのでしょう、茶道部はそこで毎週、木・金曜日の2日活動していました。日本庭園に面した広縁つきの和室では今は亡き橋本木魄先生、先輩の野手さんのお2人のご指導で、部員は5、60人はいたのではないのでしょうか。お釜は6個も掛けられ、顧問の田坂先生、阪野先生も会議以外はほとんどおいでになっていました。私はというと茶道のなんたるかをわかりもせず、また求めもせず、ただお手前を覚えるのが嬉しく、お稽古に通っていました。当番の日は早弁をして昼休みに同窓会館のお掃除と準備をします。その内、橋本先生や野手さんが来られ、七輪で火を熾し湯を沸かしておいてくださいます。お稽古はこの人数ですから、結構賑やかでしたが、それでもやはり、茶道部は茶道部でなかなかの雰囲気でした。運動場を横切り同窓会館へ一歩足を踏み入ると別世界でした。夏には和室から洋間に移りテーブルの立礼を習います。クーラーはもちろん扇風機もありませんでしたが、洋間は天井が高く結構涼しかったような気がします。

夏休みには恒例のOB会が催されます。OBと言いましても女性ばかりですが、相当古い先輩方から去年までお世話になっていた先輩方をお招きして、手作りのお食事とお茶でおもてなしをします。橋本先生をはじめ顧問の先生方と先輩方によって築き上げられた茶道部の歴史を感じる一日です。

二学期になり通常のお稽古が続きます。橋本先生は大宗匠にもかかわらず温厚なおじさんという感じで、ときどき「先生どうぞ」というどなたかの声掛けで私達をおいて慌ててお帰りになるのです。大相撲だったのです。相撲が大好きなお茶人でした。私達には決してむつかしい事はおっしゃいませんでしたが顧問の先生方とは時事や文学や芸術、茶道の事をよく語られていました。それとなく私達に教えてくださっていたのでしょう。

誰もが一番楽しみにしていた文化祭は大変忙しく学級の催しや舞台鑑賞の思い出は僅かしかありません。在校生はもちろん先生方や先輩、保護者の方々がいっぱい来てくださるのです。人前でお手前する嬉しさもさる事ながらお水屋での洗ったり拭いたり点てたり楽しかった事。お招きする事の喜びを教わっていたのです。

三学期、新年には初釜が行われます。私達がまだ学級活動をしている頃から橋本先生の陣頭で野手さん達が料理をしてくださり、手作りの見事な点心が出来上がります。

上座には校長先生や教頭先生、橋本先生、田坂先生、阪野先生、野手さんたち大人がお座りになり、私達は部屋いっぱいきちんと座ります。先生方のお話（内容はほとんど覚えておりませんが）を聞いて、私達も何か一言言ったりしながら点心をいただきます。その後、ゲームをしたりします。ゲームといっても「2・3」「3・5」「5・6」「6・21」「21・18」と言うように調子をとりながら、自分の数を言われたら次に好きな数字を言って繋いでいくという簡単なものですが、それでもとても楽しいものでした。初釜は寿ぐもの、楽しませていただくものだと教わりました。

その前にきちんとした茶席も体験させていただく訳ですが、橋本先生はそのような時、OB会や文化祭もそうですが、その時節にあった今思えば、二度と手にすることがかなわないような素晴らしい、相当高価であろうお道具をご持参くださって私達に使

せてくださいました。茶道と道具の関係、茶会における道具の役割、季節への感性などを教えてくださっていたのですが、理解出来るようになったのはずーっと後になってからでした。

女子だけだった茶道部にも男子部員が何人か入ってきました。すぐにいなくなってしまいがっかりしたのですが、私達の追い出し会をしてくれたのは男子部長率いる後輩達でした。

恵まれすぎ、全てが本物であった富高茶道部を卒業して何年か経ち、ご病気の橋本先生の代理として若輩の私とその茶道部へ行かせていただく事になりました。その時は田坂先生も阪野先生も野手さんも、もういらっしゃらず、部員の数も二十人くらい、何よりも同窓会館が運動部の合宿で使用されるとかで汚くなっていました。やがてその同窓会館も使えなくなり新館四階の作法室に移りました。そこは田坂先生のご尽力で床はもちろん格子戸や蹴り口そしてお水屋もあって立派なお茶室でしたが消防法とかで炭が使えず今風の電気コンロでした。いろんな思いはありましたが、生徒はいたって真面目で、優しく、明るいとよい子達でした。私たちが受けたご恩をお返しする事はとてもとてもできませんでしたが、十年あまり楽しく茶道部と共に過ごさせていただきました。その間に橋本先生が亡くなられ、私も二女誕生で止むなく富高とは遠退くことになってしまいました。

いつだったでしょうか橋本先生にお願いして軸を譲っていただきました。清水寺の故大西良慶猊下（橋本先生と親交深く管長として100余歳のご長寿であったとか）の【朝仰金剛峰】でした。当時は思い及びませんでしたが橋本先生の、富高を託すというお気持ちだったのではなどと思うのは考え過ぎでしょうか。

でもその後は私が一年生のとき部長をなさっていて「家でねお皿を拭く時にもこうして拭くと良いのよ」などとその頃から茶道が日常生活の中にあると教えてくださった塚本さんが富高茶道部を約20年間も守ってくださっています。部員の数は激減ですが、富高茶道部の歴史は続いています。

職場の小学生に室町文化学習の一環で茶の湯体験をした処、とても興味を示しました。その子達に「しっかり勉強して富高へ行って茶道部に入りなさい」と言っています。ぜひにと思います。

生活様式が変わり、めまぐるしく変化するこのような時代であるからこそ相手をおもんばかりの思いやりの心さえあれば一服のお茶が美味しく飲めるのではないかしらなどと感じている今日このごろです。

付記

同窓会館は、昭和二十六年（一九五一年）富高（旧富中）創立五十周年にあたって同窓会主催の記念式典において満場一致で決議され、多数の同窓会員の募金によって建設されることになった。当初同窓生の志摩観光ホテル等の名設計で著名な森忠一氏に依頼し、その名設計の縮小型になる筈であったが、予算の関係で更に縮小せざるをえなくなった。それでも葛城山の植林地から運搬した落葉松の丸柱をつかった和室を備えた瀟洒な会館が完成した。昭和二十九年（一九五四年）のことである。茶道部の創部はそのころかあるいは数年後のことと推測される。このごろの生徒の傾向としていわゆる「道、のつく部活は敬遠しがちである。茶道部も一時部員一名という年があり、時の顧問の先生は伝統ある茶道部が廃部になったら卒業生の皆さんに申し訳ないと気づかって下さり現在は十名に増えて活動しているようである。今後も「和の心」を求めて多くの入部者のあらんことを期待している。



図書室をのぞいてみて

高6期 荒井好昭

私は戦中（小学校）戦後（中学・高校）に育った世代でしたから、当時は紙不足もあって、今程あふれる様な出版物に縁遠い時代でした。そんな時代に育ったものですから、いわゆる活字に飢えていたのでしょう。友達から借りた本、乏しい小遣いをはたいて手に入れた本、それらをむさぼり読みました。いわば本の虫でした。長じてサラリーマン時代、やっと自由に使える小遣いが出来て苦しかった時代の反動で、全集を揃え始めました。日本文学全集、世界文学全集、古典文学全集、美術全集、段々埋まって来る本棚を眺めてはひとり悦に入っていました。しかし人間とは不思議な生き物で、書棚に本が揃うと「積読（つんどく）」の始まりです。通勤電車の愛読書は文学書から肩のこらない小説へ、小説から週刊誌へ、果てはスポーツ新聞でひいきのプロ野球チームの結果を見るだけになってしまいました。

引越しを三度やりましたが、書棚の本の移動が大変でした。我が家のかみさんと来たら本とは全く縁遠い方で「本を読んだら頭が痛くなる」派ですから本の整理はもっぱら私の仕事。この年になりますとそれも余りまめにやらなくなってとうとうかみさんから「この本を何とかして頂戴。あなたが亡くなったら廃品回収にでも出しますよ」と何と罰当たりな発言。しかしそれも当然かも知れません。三度目の引越しの時ダンボール10ケース位の本が、荷造りのまま押し入れに入ったままでしたから。

そこで窮余の一策、私は現在富高の同窓会の役員を仰せ付かっていましたから、月に一度役員会の為富高へ足を運びます。顧問の森口先生に恐る恐る「私の蔵書の一部を寄贈してもらい

たいのですが」と申し出ました。先生からは即座に「ありがとうございます。是非お願いします。」との返事でした。自分の本が果たして役に立つのだろうか。狭い書棚にあふれて迷惑をかけるのではないだろうか。そんな心配をしていたものですから、後日図書室へ案内してもらいました。広い図書室には整然と固い科学書、文学書から最近若者達に好まれるベストセラー書まで並んでいました。オールド「本の虫」の私には垂涎（すいぜん）の風景でした。しかし書棚には「空き」が結構あり、先生の説明では「大阪府の緊縮財政から図書の購入費が削られ、府から派遣されていた本当なら司書を置くべきところその代わりに配置されていた非常勤職員まで打ち切りになりました。現在は先生方が交替で図書室の管理をやっていて充分な運営が出来ていません」とのことでした。因みに司書とは図書館法に基づき、図書資料の整理・保管・閲覧などに関する専門的な事務を行う人のことです。私はそれを聞いて唖然となりました。今の知事は確か大阪の生徒達の学力が低いと教育の現場へ厳しい要求をしていた筈だ。日本の将来を担う前途有為の青年達を育てる現場でこんな嘆きを聞こうとは。それでも私一人が怒ったところでゴマメの歯軋り（はぎしり）。そこでひとつ卒業生の皆さんに提案があります。本棚で眠っているあなたの蔵書を母校の図書室へ寄贈してあげてください。固い本でも柔らかい本でもかまわないそうです。生徒諸君はコミックも歓迎らしいです。それにボランティアで図書室の整理・貸出し係を申し出てほしいのです。私も現役で仕事を持っていないから願ってでもしてみたい仕事です。生徒諸君の授業中は読みたい本を心ゆくまで読めるのですから。森口先生へ電話をして下さい。私は先生からの吉報を待っています。

富高レポート

土曜セミナーについて

担当：垣野健一

本校は平成14年度より土曜セミナーを実施しております。これは、土曜日を活用して、生徒が自学自習の習慣を身に付けるために卒業生がサポートしてくれるものです。9時から16時まで会議室を使用しています。生徒はわからないことがあれば、卒業生のところへ行き教えてもらうという形をとっています。当初は、大学生だけでしたが、現在は大学院生にも来てもらい、将来の進路相談にも乗ってもらえるようにしています。現在30数名の卒業生が講師登録をしてくれています。母校の後輩のためにわざわざ時間を作って来てくれていることを在校生は心に留めてください。

近年は1年生の参加が増えています。2年生はクラブの中心としてなかなか参加しにくい面がありますが、テスト前などは利用する生徒も多いです。受験を控えた3年生は学校にいと落ち着くということで利用しています。

休日の勉強方法に迷っている人や家ではなかなかやる気の起らない人はぜひ参加して、先輩に勉強方法のコツなどを教えてもらいましょう。

また、平成20年度より、3年生対象で大手予備校のセンター試験対策のDVD授業を実施しています。今年度の科目は英語、国語、数学の三科目です。このDVD授業は繰り返し行えることが利点であり、長期休業中なども活用して実施しております。これらの取組は同窓会などのご支援のおかげで実施することができており、本当に感謝しております。

夏期特別講習会について

同窓会の援助を受けて、八月十八日（火）から二十日（木）まで、予備校の講師の先生を招いて夏期特別講習（現代文・英語・共に4講座）が開催されました。

当初は学校での開講を予定していましたが、希望者多数のため、一度に多人数が入れる富田林すばるホール「銀河の間」を借りての開催となりました。

生徒達は、日頃の学校での慣れた授業とは違い、新鮮なまなざしで授業に望んでいました。

現代文Ⅰでは、鷹取先生の迫力ある話し方・詳しい説明に、「なるほど、文章はこのように構造的に解読していくのだな」と感じました。単に、受験上のテクニックだけではなく、大学に入学した後、生徒らが専門的な学問を勉強する上での大きな力になるものと思われま

す。また、現代文Ⅱの具体的な問題演習では、まるで先生がその文章の筆者にでもなったような調子で感情移入強く、要点を力説される姿に我々教員も日頃の授業を見直す必要を感じました。



平成二十年度
卒業生進路状況

公費推薦、指定校推薦
高大連携合格者を含む

国立大

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	大阪大	2	1	3
	神戸大	4	2	6
	大阪教育大	12	1	13
	奈良教育大	4	1	5
	京都工芸繊維大	1	1	2
	奈良女子大	1	0	1
	和歌山大	5	0	5
北海道	北海道大	0	1	1
関東	筑波大	1	0	1
中部	富山大	1	0	1
中国	鳥取大	0	1	1
国立合計		31	8	39

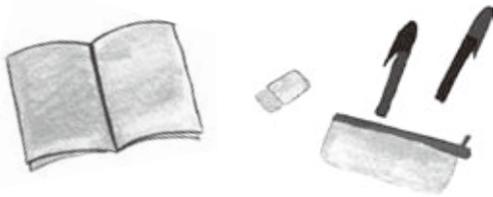
※和歌山大学合格者5名のうち1名は入学辞退

公立大

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	大阪市立大	14	4	18
	大阪府立大	12	1	13
	滋賀県立大	1	0	1
	和歌山県立医大	1	0	1
関東	首都大学東京	0	1	1
公立合計		28	6	34

主な私立短大（2名以上合格）

短大名	現役	浪人	合計
武庫川女子大学短大部	15	1	16
京都女子大学短大部	4	0	4
大阪大谷大学短大部	2	0	2



私立大

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	関西大	100	35	135
	関西学院大	55	12	67
	同志社大	34	25	59
	立命館大	35	20	55
	京都産業大	2	0	2
	近畿大	66	24	90
	甲南大	21	4	25
	龍谷大	3	13	16
	佛教大	1	0	1
	桃山学院大	1	5	6
	四天王寺国仏大	4	0	4
	大阪経済大	3	0	3
	摂南大	12	1	13
	神戸女学院大	0	0	0
	武庫川女子大	37	10	47
	京都女子大	7	2	9
	同志社女子大	16	0	16
	京都外国語大	0	0	0
	関西外大	9	0	9
	大阪女学院大	1	0	1
	大阪樟蔭女子大	3	0	3
	大阪大谷大	5	0	5
	大阪薬大	2	0	2
	京都薬大	1	0	1
	神戸薬大	0	0	0
	神戸学院大	0	0	0
	帝塚山学院大	2	1	3
	関西福祉科学大	1	0	1
大阪芸術大	7	0	7	
大阪体育大	1	0	1	
畿央大	18	3	21	
大阪工大	4	0	4	
大阪電通大	0	0	0	
近畿外	早稲田大	2	2	4
	慶應義塾大	0	0	0
	青山学院大学	2	1	3
	明治大学	2	0	2
	法政大学	1	0	1
	東京理科大	0	2	2
創価大	0	0	0	

※畿央大は平成15年から、大阪女学院大は平成18年から名称が変更された。

現役（61期生）進路状況

性別	卒業生数	大学・短大進学	省所管外校	専修学校	就職	その他
男	165	110	0	2	0	53
女	151	139	0	9	1	2
計	316	249	0	11	1	55

現役（61期生）大学・短大・専門学校志望者の進路状況

性別	卒業生数	四年制大学			短期大学			専門学校			浪人
		国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立	
男	165	17	18	75	0	0	0	0	0	2	53
女	151	13	10	105	0	0	11	2	1	6	2
計	316	30	28	180	0	0	11	2	1	8	55

浪人（60期生以前）の進路状況

性別	四年制大学			短期大学			専門学校		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立
男	7	6	35	0	0	0	0	0	0
女	1	0	9	0	0	0	0	0	0
計	8	6	44	0	0	0	0	0	0

6月に富田林市内で起こった高校生の事件の折には卒業生から学校に多くの問い合わせがあり、対応に追われたそうだが、一面、母校に対する思い入れの強さ

編集後記

の表れだろう。

それにつけても、同窓生同志の結びつきを強め深める場としての菊水郷の役割をさらに深めたい。

部活動元気通信

茶道部

・毎週水曜日、西館1F作業室で活動中です。

軽音楽部

・12月28日第29回 We are Sneaker Ages

文芸部

・現在部員6名で活動中。毎月一回部誌

演劇部

・春の文化祭の上演に向けて稽古に励んで

吹奏楽部

・12月に行われた大阪府アンサンブルコンテ

男子ソフトテニス部

・新人大会 中央大会 三村・白谷組 ベスト16

女子ソフトテニス部

・新人大会個人戦 大野・相馬組 ベスト8

男子硬式テニス部

・大阪高等学校春季テニス大会

女子硬式テニス部

・大阪高等学校総体シングルの部

ラグビー部

・4月13日 第63回大阪高等学校総合体育大会

バドミントン部

・8月 全国高等学校総合文化祭 群馬県大会出場

卓球部

・大阪高校新人大会 団体1-3 登美丘

男子バレーボール部

・部別大会 0-2 清風 2-0 大阪電通大

女子バレーボール部

・部別大会 0-2 清風 2-0 大阪電通大

硬式野球部

・秋季近畿地区高校野球大会大阪府予選

松田嘉幸 2R 3-⑥ 外海 (金剛)

木本恭平 1R 4-⑥ 川端 (河南)

石井大瑛 2R ⑦-⑤ 上之郷 (河南)

青木龍之介 2R 1-⑥ 西田 (金剛)

寺本 朗 2R 1-⑥ 北野 (河南)

植松隆太郎 2R 0-⑥ 長倉 (河南)

石井・米留 2R 2-⑥ 神谷・大谷 (河南)

青木・平野 2R 3-⑥ 宮地・兵頭 (金剛)

木本・西本 2R ⑦-⑤ 野村・高濱 (金剛)

岡田・村田 2R ⑥-③ 森本・内山 (河南)

松田・吉田 2R 2-⑥ 加藤・藤林 (河南)

植松・寺本 1R 4-⑥ 竹内・井上 (河南)

平成21年度大阪高等学校春季テニス大会団体戦 5/4

1R 富田林 1-② 大冠

D 勝部・室谷 4-⑥ 古守・田中

S1 高津 陸 ⑥-③ 上原

S2 西田祐平 4-⑥ 反田

<予選>

F 富田林 ③-① 布施工科

D 勝部・室谷 ⑥-② 白石・西岡

S1 高津 陸 ⑥-① 伊藤

S2 西田祐平 ⑦(6)5 大倉

SF 富田林 ②-① 長野

D 勝部・室谷 ⑥-④ 永田・松井

S1 高津 陸 ⑥-③ 阿村

S2 西田祐平 2-⑥ 橋本

・大阪高等学校総体シングルの部

本戦出場 田中梨香子

・楽しく明るく元気に練習に取り組んでいます

・第3回南大阪地区テニス大会 6/14~6/28

山本志保 1R 1-⑥ 原田 (四天王)

辻本 愛 1R 0-⑥ 中野 (羽衣)

伊藤成美 1R ⑥-④ 奥野 (大体大浪商)

藤原ユキ 2R 3-⑥ 藤原 (大塚)

木村絵理子 1R 1-⑥ 小田 (東北)

橋ひかる 1R ⑥-④ 浅田 (大体大浪商)

橋ひかる 2R ⑥-③ 井上 (精華)

3R 3-⑥ 島田 (四天王)

・第79回堺市種目別大会 団体の部 5/31~6/21

富田林A 2R 0-③ 久米田A

D 木村・飯田 4-⑥ 早川・山本

S1 辻本 愛 ⑥-④ 関井

S2 伊藤成美 34打切り 青山

富田林B 1R 0-③ 精華A

D 米岡・前田 0-⑥ 井上

S1 山本志保 1-⑥ 片岡

S2 柿原ユキ 0-⑥ 藤谷

・第3回第3学区テニストーナメント

団体の部 5/30~6/21

<予選>

富田林A 2R 1-② 大塚C

D 木村・飯田 3-⑥ 小林・加島

S1 辻本 愛 ⑥-④ 山神

S2 伊藤成美 3-⑥ 那須

富田林B 2R 1-② 藤井寺B

D 米岡・柿原 4-⑥ 小林・加島

S1 山本志保 ⑥-④ 阿村

S2 前田友美 3-⑥ 石井

・2009年度 富田林市民大会・高校の部 5/3, 4

早川英里 2R 0-⑥ 市林 (河南)

山上七海 2R 0-⑥ 木下 (河南)

柿原ユキ 1R ⑥-④ 橋本 (河南)

2R 2-⑥ 長谷川 (初富)

東口桜子 2R 0-⑥ ?

前田友美 1R ⑥-① 中田 (河南)

2R ⑥-① 安野 (初富)

3R ⑥-② 堂上 (河南)

SF ⑥-① 濱崎 (河南)

F ⑥-① 新谷 (初富)【優勝】

樽原彩乃 2R 4-⑥ 松田 (初富)

前田友美 2R 1-⑥ 濱崎 (河南)

東口・山上 2R 1-⑥ ?

谷口・早川 2R ⑥-④ ?

3R 3-⑥ 福居・西川

米岡・前田 1R 3-⑥ 安野・北岸 (初富)

平成21年度大阪高等学校春季テニス大会団体戦 5/4

<予選>

1R 富田林 0-③ 牧野

D 木村・飯田 1-⑥ 松村・岡藤

S1 辻本 愛 3-⑥ 池田

S2 伊藤成美 6(7)5 西面

・男子バレーボール部

・部別大会 0-2 清風 2-0 大阪電通大

2-1 門真なみはや (1部Fゾーン2位)

・春高バレー予選 0-2 桃山学院

・4月19日 (日) 部別大会

富田林2-0 大阪電通大

富田林2-0 茨木

富田林0-2 清風

1部Hゾーンで2位

・6月7日 (日) インターハイ予選

富田林1-2 池田北

・女子バレーボール部

・11月部別 2-0 学芸 1-2 春日丘

・硬式野球部

・秋季近畿地区高校野球大会大阪府予選

10-3 東住吉総合 (7回コールド)

2-6 城東工

・4月~の戦績

仁徳杯

1回戦 富高7-0 成美

2回戦 富高1-2 大商大堺

・春季大阪大会

1回戦 富高0-7 近代泉州

ソフトボール部

・春季大会 4-2 貝塚 5-4 山田

7-8 芦間 (ベスト16)

・秋季大会 2-7 市岡

・4月からの試合結果

62th&63th

4/2 vs 河南 0-6

vs 関福・藤井寺 6-0

vs 狭山 8-3

vs 全国 2-8

4/ vs 住吉商業 9-4 春季大会

vs 交野 0-2 春季大会

63th&64th

6/ vs 河南中 5-1

13-11

12-2

5-2

8-3

7/4 vs 生野 5-5

7-7

7/11 vs 河南 13-2

3-8

7/18 vs 住吉商業 3-8

7-6

7/19 vs 天王寺商業 3-2

3-7

・29-10摂摩

・4月27日 第63回大阪高等学校総合体育大会

41-5 関西大倉

バドミントン部

・8月

・全国高等学校総合文化祭 群馬県大会出場

・9月

・バドントワリング大阪府大会「銀賞」

・バドント文化祭公演

・11月 バドントワリング関西大会「金賞」

・1月 関西中学校高等学校大会「金賞」

・全国高等学校総合文化祭 三重県大会出場決定

・マーチングバンド・バドントワリング全国

大会「銀賞」(幕張メッセ)

・2月 バドントワリングコンテスト

・3月 陸上自衛隊のイベント出場

・4月15日 (水) 15:45~

・バドント文化祭公演 (62期生引退)

卓球部

・大阪高校新人大会 団体1-3 登美丘

ダブルス5回戦1組ベスト32

4回戦2組ベスト64

・チャレンジカップ

11月リーグ2-1 北千里 1-2 大阪朝高

2位トーナメント優勝

・大阪高校総体 3-0 守口東

3-1 門真西

1-3 布施

・全国選抜シングルス予選

シングルス 5回戦ベスト16

64ブロック大会 (岸和田市総合体育館)

3回戦 4名

4回戦 1名

・大阪高校選手権大会 (岸和田市総合体育館)

5/4 (月) シングルス 3回戦 1名

4回戦 2名

5/5 (火) 団体

1回戦 富田林3-0 清明学院

2回戦 富田林0-3 阪南高校

5/6 (水) ダブルス 3回戦 2組

男子バスケットボール部

・秋季強化大会

予選リーグ 25-56 藤井寺 28-27 松原

21-40 阿倍野 59-0 平野

3位リーグ 61-57 茨原 68-37 長野

38-64 狭山

・大阪高校新人大会

86-38 羽曳野 57-74 清風

・7-8 芦間 (ベスト16)

・秋季大会 2-7 市岡

・4月からの試合結果

62th&63th

4/2 vs 河南 0-6

vs 関福・藤井寺 6-0

vs 狭山 8-3

vs 全国 2-8

4/ vs 住吉商業 9-4 春季大会

vs 交野 0-2 春季大会

63th&64th

6/ vs 河南中 5-1

13-11

12-2

5-2

8-3

7/4 vs 生野 5-5

7-7

7/11 vs 河南 13-2

3-8

7/18 vs 住吉商業 3-8

7-6

7/19 vs 天王寺商業 3-2

3-7

女子バスケットボール部

・秋季強化大会 (116, 7学区) 第3位

・第56回大阪高等学校新人大会

46-62 城南学園

・インターハイ 一次予選 (4/19~5/5)

第1回戦 富田林72-21PL

第2回戦 富田林56-54精華

第3回戦 富田林56-84山田

サッカー部

・サッカー部は、2年生15名、1年生20名、

マネージャー4名で毎日頑張っています。

冬休みに淡路島で練習試合を兼ねた合宿

を行いました。

・新人戦 (2009年1月)

1回戦 3-0 初芝富田林

2回戦 0-1 泉北

・冬季合宿 (2008年12月)

FCフレスカ主催「第8回Tomeo di natale」

Aチーム 2位リーグ1位

Bチーム 3位リーグ4位

・南河内リーグ (2008年10~12月)

5勝1敗2分け (3位)

優秀選手 2 E 深江元哉 2 F 山崎有輝

バドミントン部

・大阪府高等学校バドミントン選手権にシン

グルス、ダブルス出場

・第57回 富田林市民体育大会

バドミントン女子2部シングルス 優勝

2年 杉本 唯

ダンス部

・8月に神戸市で開催された第21回全日本高

校・大学ダンスフェスティバルに出場しま

した。

生物化学研究会

</